

消防団からのお知らせ

新規消防団員募集中！

川俣町消防団では一緒に町を守ってくれる消防団員を募集しています。初期消火など素早く行える消防団の存在は欠かせないものです。あなたの郷土愛で町民の命と財産を守りましょう。

担当：総務課消防交通係（内線 1106）



遠藤 そうですね。そうすれば皆さん安全に避難できますね。

菅野 そのほか、避難の際に注意していただきたいのが、地震発生時では①揺れが収まってから避難する②家を離れる場合はブレーカーを切る③ガスの元栓を閉める④枕元にはスリッパ（靴）を備えておくことを心掛けてほしいです。水害時には、①明るいうちに②2名以上で③できれば警戒レベル3で避難をお願いしたいです。

遠藤 そうですよ。川俣町は東日本大震災以降、主要道路や河川工事が進んで、以前よりスムーズに避難しやすくなり、水害も減っていきと思います。しかし、それでも災害は自然との闘いであり、いつ何が起こるか分かりません。町民の皆さんには町から配られた「防災マップ」を日頃から確認していただき避難場所や避難所、各種災害対策、各地区の警戒区域や危険箇所等を確認しておいていただきたいと思っています。

菅野 確かに家族で避難経路や避難時必要になるものを定期的に確認すると安心ですね。

【安全と安心について】

遠藤 「安全」は数値化されて分かるものですが「安心」は気



持ちの部分がとても大きいです。消防団の皆さんには地域住民に寄り添った活動をしていただき「安心」の部分を作っていただきたいと思っています。

菅野 分かりました。「安心」でいうと地域の避難訓練・防災訓練に参加していただくのが良いと思います。地域で行われる防災訓練では避難や消火訓練のほか炊き出しの訓練なども行います。ぜひ一度は参加していただいて、まずは「避難」がどのようなものなのかを実際に体験してほしいと思います。

消防署からのお知らせ 救急電話相談一覧～困ったときはすぐに電話を～

事業名	電話番号	事業内容
夜間救急電話相談 (19時～翌8時)	# 7799 または 024-524-3020	・救急車の必要性に対する判断 ・自身でできる応急処置 ・症状に応じた医療機関の案内
こども救急電話相談 (19時～翌8時)	# 8000 または 024-521-3790	・家庭でできる応急処置 ・症状に応じた医療機関の案内

特別対談

9月1日は防災の日

防災を考える

消防団×南分署特別対談を開催

局 地的な豪雨や大きな地震が多発しており、私たちの身にその猛威が降りかかるやもしれません。今回はそんな災害時に必要不可欠な「防災」をテーマに川俣町消防団長の菅野一意さんと南分署長の遠藤富雄さんによる特別対談を行いました。

【民友旗受賞について】

遠藤 まずは民友旗受賞おめでとうございます。1955年から長年続く川俣町の消防団活動が評価されたのだと思います。

菅野 消防団員543名全員、また日頃から町民の皆さんの消防団員活動に対するご理解とご協力があったの受賞だと思います。民友旗受賞に慢心せず、今後も気を引き締めて消防活動に励んでいきたいと思っています。



【消防団活動について】

菅野 現在、消防団では各分団で山林火災が起きたことを想定しての中継訓練や定期点検は常に行っています。

遠藤 一番川俣町で危惧されるのが林野火災ですね。今後冬にかけて空気が乾燥してくるので注意していただきたいですね。そしてやはり大きな災害ほど消防団の力が重要になります。

菅野 今は会社勤めの消防団員が多く、日中は町内に居る団員が少ないため、OBである機能別消防団員や女性消防団員の入団を強化して、速やかに初期消火にあたることのできる、また災害を未然に防いでいく体制を強化しています。

【避難について】

遠藤 今後は気候変動により災害の発生する時期や規模が大きく変わってくると予想されます。そのため皆さんには早め早めの避難をお願いしたいです。

菅野 そうですね。消防団は住民に密着しておりどこよりも素早く対応ができます。しかし、やはり災害発生時には「自助」や近隣住民等の「共助」が重要になりますので地域のコミュニティをしっかりと作っておくことが重要ですね。



伊達地方消防組合
中央消防署南分署長

遠藤
富雄

とみお



消防署からのお知らせ

「火の用心」と「救急の日」

今年に入ってから川俣町では火災が4件と昨年を超える頻度で発生しています。「火の用心」をお願いします。

また、9月9日は「救急の日」です。救急車の適正利用をお願いします。ただし、いままでに経験したことのない「激しい頭痛」「激しい胸痛」「激しい腹痛」は迷わず直ぐに「119番」通報をお願いします。

